

2013年度 J E S C 奨励賞 候補作品

校名；東京フィルムセンター映画・俳優専門学校

学科／専攻；映画制作科／シナリオ・放送作家専攻

氏名；佃 良太（ツクダ リョウタ） R y o t a T s u k u d a

出身校；愛知県 中部大学第一高等学校

タイトル；連続ドラマ「BATTLE☆DISH//」企画・シナリオデビュープロジェクト

<プレゼン原稿>

「映画を作りたい」という気持ち一つで、私は東京フィルムセンター・映画俳優専門学校へ入学しました。

数ある映像系の専門学校の中で、何故本校を選んだのかというと、年間200本以上という圧倒的な映像制作実績があったからです。

こんなにも映像を作っている学校、他にはありません。

入学前から、どんな映像を作ろうかとワクワクが止まりませんでした。

入学してから、目標を立てました。それは、在学中にプロデビューをする。という目標でした。目標を達成する為に、毎日必死で脚本を執筆しました。

この目標を達成する為には、学校の誰よりも脚本を書いているなければ成し得ないと考えたからです。

学校講師で脚本家の、清水先生や梶本先生に脚本をいくつも見ていただき、自分の中で脚本を書く力を蓄えて行きました。

そして、3年生になった時、今回の「プロデビュー」のきっかけをくれたのが、講師であり映画監督の斎藤先生でした。「監督デビュー」という実践カリキュラムで、私が脚本を担当させていただいたことが始まりです。

授業内で、斎藤先生とプレストを重ねて行く中で、先生が所属されている株式会社スターダストピクチャーズでの「脚本の企画プロジェクトに参加してみないか」と声をかけていただきました。

「プロのプロジェクトに参加出来る」という事だけで嬉しくて、飛びつくようにそのプロジェクトに参加しました。

結果、最初のコンペでは企画が通る事はありませんでした。しかし、その後も諦めることなく、幾度となく斎藤先生にチャンスを頂き、ついに成果を上げる事が出来ました。

それは、アイドルグループ「DISH//」の連続ドラマ企画のコンペでした。

先生から、企画が通ったとの連絡を頂いた時は、信じられない気持ちで一杯でした。「脚本デビューおめでとう」と言ってくれた先生の声は、今でも耳から離れません。

企画が通った後は、プロの映像制作の中で揉まれ、決して楽しい経験ばかりではありませんでしたが、先生の叱咤と激励に励まされ、なんとか自分を取り戻し、今もしがみ付きながら自分のデビュー作を完成させる為に奮闘している最中です。

そして今年の1月10日にデビュー作である連続ドラマ「BATTLE☆DISH//」の第一回放送を迎える事が出来ました。プロの皆さんからは学生在学中に脚本家としてデビューをする事は快挙だと応援をして頂いております。

この後も執筆は続きますが、毎週の放送を励みに、一層頑張っていきたいと思っています。

これらの取組、成果を評価していただき、この4月よりNHKの編集を担当している「株式会社白川プロ」に内定を頂く事が出来ました。

この会社で働きながら脚本を書き続け、いつか誰もが驚く様な作品を生み出したいと考えています。

東京フィルムセンター・映画俳優専門学校と、斉藤先生をはじめとする多くの先生方は、私にとって親の様な存在です。

育ててくれた学校や講師の皆様の期待に添える様、今後も精進を続け、いつか必ず日本一の脚本家になって恩返しをしたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました。